



JAPAN HANGGLIDING FEDERATION

JHFレポート

11・12月号
2002年

(社)日本ハンググライディング連盟 発行

<http://jhf.skysports.or.jp/>



2003年春、JHF役員選挙を実施。

来年3月31日の現役員任期満了にともない、役員選挙を行います。
選挙情報はJHFレポート次号に掲載します。
JHFホームページにも選挙のページを設けますのでご覧ください。
ハンググライディング&パラグライディングの未来を自分たちの手で拓きたいと考えている方、ぜひ立候補を。

高見正治さん、FAIエアスポーツメダル受賞。

9月20日(空の日)東京都の航空会館で(財)日本航空協会賞の表彰式・国際航空連盟(FAI)賞の伝達式が行われました。
JHFでは、広島県ハンググライディング連盟の高見正治さんのFAIエアスポーツ・メダル受賞が伝達されました。
エア・スポーツメダル賞は、リリエントールの初飛行100年を記念して1991年に制定され、航空スポーツに関連した委員会業務、競技会運営、若年層の教育訓練等に顕著な功績や貢献があった個人または団体に贈られる賞です。
写真1:高見正治さん(中央)と、関谷常任理事(左)、添石事務局長。



MPG教員技能証を新設。

今春のMPG(モーターパラグライディング)技能証に続き、MPG教員技能証の新設が決まりました。MPG指導資格を持つ教員は11月1日から12月31日までの間に新技能証への移行認定を受けてください。
詳しくは、2~3ページをご覧ください。
JHFホームページにも詳細を掲載しています。

村田福司選手、MPG選手権二度目の勝利。

9月28日・29日の両日、茨城県真壁郡関城町アクティブフライングクラブ飛行場で、第6回JHFモーターパラグライディング選手権 in 関城を開催。ベテラン村田福司選手が他を大きく引き離して優勝しました。
詳しくは3ページをご覧ください。
写真2:初日は雨で飛ばず、2日目に2本の競技を行った。



2002年ハンググライディングシリーズ終了。

10月4日から6日まで、石川県鶴来町の獅子吼高原エリアで開催された「2002デザートバードマンカップ獅子吼 第21回大会」を最終戦に、2002年のハンググライディングシリーズは終了しました。
JHFホームページ、常設委員会のHG競技委員会ページに暫定ランキングを掲載中です。
2003年のシリーズ参加をご希望の方は、JHF事務局へ登録申込みを。
写真3・4:デザートバードマンカップ獅子吼より。2003年はあなたもHGシリーズに!



JHF活性化対策委員会にご意見を。

その名のとおりにJHFの活性化をはかるJHF活性化対策委員会が、活動を開始しました。JHFへのご意見・ご要望を、JHF事務局内の同委員会に郵便/FAX/Eメールでお寄せください。



JHFレポートは、スポーツ振興くじ助成金を受けて発行しています。

JHFレポート 11・12月号		Contents
P2 - 2003年3月実施のJHF役員選挙に向けて	P2 - MPG教員技能証新設	P3 - 第6回JHFモーターパラグライディング選手権in関城
P4 - 安全講座	P6 - リジッドウイング・ハンググライダーのスピニング防止/カレンダー	P8 - JHF登録スクール一覧
P10 - 県連だより	P11 - 県連ニュース/理事会ダイジェスト/理事活動報告	P12 - 委員会の動き
P13 - @sky		

03 役員選挙

2003年3月実施のJHF役員選挙に向けて

JHF選挙管理委員会 委員長 内田 孝也

今期の選挙管理委員会のご紹介

選挙管理委員会は、JHFの理事・監事を選出する手続きを実地に担当するのが主たる仕事です。2000年の6月に選出された前期の委員より、JHF総会で正会員(各都道府県連盟)から直接任命されるようになっていきました。今年の6月総会では、前回2001年の役員選挙での混乱を受けてJHF役員選出の方法を定めた規程文書を改める議決が行われ、選挙管理委員も新しいきまりに従って任命されました。

新しく定められた選挙管理委員会は5名で構成されるものとなっていますが、あいにく候補者が少なく、下記の3名で活動を開始しております。今期のメンバーは、選任が6月ですが、新しく定められた2年任期の改選期が、選挙のない年の3月総会となりましたので2004年3月までの1年9ヶ月で任期を満了いたします。委員は、神奈川県在住の星野納、埼玉県在住の西ヶ谷一志、東京都在住の内田孝也となっております。7月30日の第一回委員会で、内田が委員長を務めることが決定しました。

3名の委員のうち2名は、2001年選挙を担当した前期選挙管理委員会からの継続で選挙実務の執行にあたります。委員は全員選挙についての勉強を良くしておりますので、疑問があればお気軽にお尋ねください。

選管活動の基本と理念

JHFの役員は、社団法人として文部科学省の認可を受けたJHF定款に従って、選挙で選ばれます。その手続きについては、JHFの総会で「JHF役員選挙規程」が制定されていますので、選挙管理委員はそのきまりに基づいて役員改選の案内や立候補の受付、そして最終的には来年3月総会での投票の実施を担当いたします。

公益法人の経営者を選任する活動ですから、公正で絶対的な公平さをもって運営されなければなりません。選挙管理委員は、定款や規程の定めるところを間違いなく実行にうつし、不正のない選挙を実現することに責任をもちています。

規程の中で選挙については様々なことが想定され、たいていの状況にはきちんと明文化されたきまりができておりますが、それでも現実には想定外の事態や行為が発生するものです。選挙管理委員会は、総会が定めた規則の求めるところに従って独善や偏りのない判断をもって対処していきます。過去3回の役員選挙での法律解釈の積み重ねや、公職選挙でのきまりなどを尊重することになります。

そして委員一同、透明性の高い、皆さんに

関心を高く持ってもらえる選挙の執行に努力します。

役員選挙の公示に向けて

来年3月総会で、新しい理事・監事を選出するための選挙活動は、おおむねこれまでの事例と同じタイムスケジュールで進行します。2003年新年を迎えると間もなく、選挙公示を行い、具体的な日取りの告知と有資格者の役員立候補について受付が始まります。JHFホームページを通じて、公示内容やできる限りの情報をお伝えしていく予定ですが、立候補を志す方がJHFの理事に就任するための制限に抵触するのかどうかなど、ケースごとに紹介していきます。

立候補者は住民票のあるところの都道府県連盟の推薦が必要となりますが、各都道府県の執行部でも推薦について迷うことがあるかもしれません。選挙公示が出てから、限られた時間で判断をしようとするより、今のうちから選挙管理委員会にご相談いただければアドバイスをさせてもらえるものと思います。JHFと全国のフライヤーのために働くという個人はもとより、都道府県連盟で強く推したい方がいる場合など、お気軽にお問い合わせください。

選挙公示が過ぎ立候補受付が始まると、情報伝達や開示レベルの公平性などの配慮が出てきますので、年内にご連絡いただくことを強く推奨いたします。この記事をお読みになったら、すぐにもまわりの仲間と役員選挙の話をしてみてください。ご相談をいただいたものの中で、全国で事例として参考になりそうなものは、地域や個人を特定できないようにしてホームページ等で広報することも考えています。

新しい「JHF役員選挙規程」とは

JHFの役員は、JHFの憲法のような「定款」にしたがって選ばれるのですが、その手続きについては、従来では定款ののっとって定められた「JHF役員選挙並びに選挙管理委員会に関する規約」というきまりと、さらにその中で「別に定める」とされていた「推薦基準」にしたがって選挙が行われていました。そのため、選挙活動には「推薦基準」や「定款13条3の解釈」など複数のきまりを読み合わせて判断する複雑さと、それらのきまりの根拠の曖昧さがつきまとい、わかり難いものになっていました。

今年6月の総会でそれらのきまりをひとつにまとめ上げ、補足した「JHF役員選挙規程」が新たに制定されたのです。これで定款に基づいて選挙の手続きを定めたものは一本化され、少し長いですが整理されわかりやすいものとなったのです。この全文をJHFホームページに掲載してありますので、ぜひ一度目を通してみてください。

もともとの「定款」には変わりありませんので、選挙で選ばれる役員の、望まれる姿には変化はありません。来年度からの理事・監事を決める2003年選挙に、皆さん一人一人の関心をお寄せください。

選挙管理委員会の相談受付窓口を下記のように開設いたします。

Eメール:senkyo@jhf.skysports.or.jp
JHFホームページからも、直接上記アドレスにメール送信できるようにいたしました。電話およびFAXは、JHF事務局へ。電話:03-5840-8311 FAX:03-5840-8312
いずれの場合も、委員会からご連絡できるよう連絡先を明記してください。

MPG教員技能証新設 11月・12月に移行認定

この4月、JHFパラグライディング補助動力技能証に関する規程が変わり、PG補助動力A級練習生技能証とPG補助動力B級練習生技能証がなくなりました。また、PG補助動力ノービスパイロット技能証は改定になり、名称がモーターパラグライディングパイロット技能証(MPG技能証)になりました。

これらの変更に関して、モーターパラグライディング教員技能証(MPG教員技能証)を新設する案が9月理事会で承認されました。これにより、来年1月1日から「PG補助動力技能証を有するPG教員」は、モーターパラグライディングの指導や技能証明をする資格がなくなります。今後もMPGの指導をしていきたいとお考えの方は、11月1日から

12月31日までの移行認定期間内に、以下のようにMPG技能証とMPG教員技能証の申請をしてください。

移行認定期間を過ぎてからは、PGやHGの教員と同様、研修・検定を経てMPG教員技能証申請(MPG技能証が必要)をしていただきます。また、MPG教員技能証の有効期間も他と同じく3年間です。

フライヤー会員登録の確認

JHFフライヤー会員登録が有効かどうかを確認する。期限切れの場合は、まず会員登録を行う。登録用紙がなければ申請書とともに事務局に請求する。

申請書を2通(同じ用紙を2枚)手に入れる。JHF事務局に郵便/FAX/Eメールで申請

第6回JHFモーターパラグライディング選手権 in 関城

村田福司選手、二度目の栄冠。

報告:補助動力委員会 委員長 山崎 勇光

9月28日・29日、茨城県真壁郡関城町で6回目のJHFモーターパラグライディング選手権を開催しました。

今大会は最初に残念な報告をしなければなりません。第2競技中事故が発生しました。前回の三重大会でも活躍された選手が何かのきっかけでスパイラル降下して、高さ90mの高圧線鉄塔中段に衝突。胸部を強打して肋骨を骨折し、全治3週間のケガを負いました。幸い本人の意識がしっかりしていることと、送電に影響が無かったことが救いでした。しかし墜落現場が何万ボルトかを送電中の高圧線に近く、あわや大惨事という事態だったことを考え、これを教訓にして、今後の競技内容をあらためて検討する方針です。

現時点では不明な点が多々あるため、事故の詳細を申し述べることを差し控えさせていただきます。

さて、今大会の初日は雨で、開会式後の競技は全て中止になりました。

2日目は天候が回復し、午前午後あわせて3競技を予定していましたが、テイクオフの風向が定まらず、予想以上にテイクオフのスタートに時間がかかってしまったため、2競技を成立させた時点で終了となりました。

優勝は第1回大会の優勝者で、埼玉県のベテラン村田福司選手。第1タスクは同率2位、第2タスクはトップの堂々たる成績で、2度目の栄冠を勝ち取りました。村田選

手の安全で手堅いフライト技術は、ターゲットを絶対外さないセーフティランディングで知られています。万人が見習わなければならない高い技術は称賛に値します。

準優勝はPPGでもご活躍の岩田幸雄選手で、第1タスク5位、第2タスク3位にまとめ、やはり手堅いベテランの味を存分に発揮しました。

第3位は前回の三重大会が初参加だった地元茨城県の栗原清正選手。2回目のチャレンジで一気に上位入賞を果たしました。

第1回JHFモーターハンググライディング選手権の方は、残念ながら出場定員が満たされず不成立になりました。第1回大会はあらためて来年度開催する予定です。

手前勝手な言い方ですが、今回の大会は初めてのことが次々と経験できて、貴重な財産を得たような気がします。

大会を開催するにあたり毎回地元の方々には大変お世話になり、深く感謝しています。今回素晴らしい会場を提供していただ



選手一同、競技を終えてニコソリ。



いた、アクティブフライングクラブ飛行場オーナー宮崎勇氏には、我々のわがままなお願いを快く引き受けていただき、JHFを代表してあらためてお礼を申し上げます。

上位成績

1位	村田 福司	埼玉県	7200点
2位	岩田 幸雄	千葉県	6000点
3位	栗原 清正	茨城県	5900点
4位	相羽 輝夫	千葉県	5700点
5位	関口 伸夫	東京都	5300点
6位	佐藤 良雄	宮城県	5000点
7位	今中 正	栃木県	4900点
8位	萩原 光	千葉県	4700点
8位	田村 光穂	茨城県	4700点
10位	堂坂 佳延	埼玉県	4200点



前列左から岩田、村田、栗原各選手。後列左から女子優勝の櫻井、MHG特別賞の松本、佐藤、相羽各選手。

書の請求をする。その際、氏名・住所・申請書送付先・連絡先電話番号・JHFフライヤー会員番号・PG補助動力技能証番号・PG教員技能証番号・補助動力会員番号を明記する。

申請料を払い込む。

移行認定期間に限り「PG補助動力技能証を有するPG教員」のMPG技能証申請料は免除。MPG教員技能証申請料10,000円のみを銀行振込(三井住友銀行小石川支店 普 3488605(社)日本ハンググライディング連盟)または郵便振替(00180-8-650201(社)日本ハンググライディング連盟)で払い込む。現金書留は不可。

2通の申請書を送る。

MPG技能証とMPG教員技能証、申請書1通ずつに必要な事項を記入、申請料送金票のコピー(移行認定期間中はMPG技能証申請料免除なのでMPG教員技能証申請料のみ)・フライヤー会員登録証のコピー・PG補助動力技

能証のコピー・PG教員技能証のコピーを貼付して、JHF事務局に郵送する。

*

JHF技能証ではなく、FLM技量認定証を持つフライヤーも申請できますが、まずJHFフライヤー会員登録を行ってください。以下は移行認定期間中の申請方法です。申請書はJHFの教員と同じくJHF事務局に請求してください。

FLM/PPG技量認定証クラス1フライヤーがMPG技能証の申請をする場合

技量認定証取得後1年以上のフライト経験が必要。申請書に、申請料(5,000円)送金票のコピー・PPG技量認定証クラス1のコピー・JHFフライヤー会員登録証または登録料送金票のコピーを貼付して、JHF事務局に郵送する。

FLM/PPG技量認定証クラス2フライヤーがMPG技能証の申請をする場合
申請書に、申請料(5,000円)送金票のコピー・

PPG技量認定証クラス2のコピー・JHFフライヤー会員登録証または登録料送金票のコピーを貼付して、JHF事務局に郵送する。

FLM/PPGインストラクター技量認定証フライヤーがMPG教員技能証の申請をする場合
MPG技能証とMPG教員技能証の申請をする。MPG技能証用の申請書に、申請料(5,000円)送金票のコピー・JHFフライヤー会員登録証のコピーまたは登録料送金票のコピーを貼付し、MPG教員技能証用の申請書に、申請料(10,000円)送金票のコピー・PPGインストラクター技量認定書を貼付したものと一緒に関城事務局に郵送する。

(社)日本ハンググライディング連盟 事務局

〒112-0003 東京都文京区春日2-24-11
春日Shimaビル8階
TEL.03-5840-8311 FAX.03-5840-8312
E-mail:jhf@skysports.or.jp

私が体験した事故

秋も深まり、パラフライヤー・ハングフライヤーの待ちに待ったサマーシーズン到来！
 しかしながら9月までに国内での死亡事故が10件も発生している。これは他人事ではない。
 あなたも事故を起こす可能性がある。今回はフライヤー各自、再度日頃のフライトの見直しと
 安全フライトへの意識を再確認するため、ハングとパラの事故体験者レポートを紹介する。
 どちらも通常のフリーフライト中における事故。自分の身に置き換えて読んでほしい。

事故報告1 ハングライダー

タンブルによる機体の破損 レスキューパラシュートによる 降下不時着

日時:2000年3月12日 15:20頃
 発生場所:紀ノ川フライトエリア(龍門山)
 粉河町上空 約650m
 天候:晴れ 北東から北の風2~3m/s
 雲底:1200mぐらい ソアラブルな条件
 機体:キングポストレスグライダー(上級者用)
 パイロット:T氏 HG経験10年
 総飛行時間430h

機体破損状況:フレームほぼ全損
 破損詳細:クロスパー破損(クロスパーとスパーの接合部分近くからねじれ折れ)両スパー折れ(同じくクロスパースパー接合部ノーズ側がねじ折れ)ダイブスティック折れ、リミッター折れ
 パイロットの状態:落下中に機体にぶつけたと思われる打ち身(左ひじ内側)のみ

経過詳細

龍門山山頂テイクオフより14:30テイクオフ、5~6機でソアリングしながら北方向へ向かう。前山の裾野くらいで高度がなくなり、みんなで引き返す。先に引き返した機体が粉河町上空でセンタリングを始めたので、その3~4機が一番下に入る(高度650m)。

左旋回1、2周してあまり強くないと思いき、バンクを緩めてコアを探そうとしていると、突然左翼が落ちほぼ垂直になる(急激なロール)。立て直そうとアップライトとベースパーをつかもうとしたが、あまりにも拳動が急でつかめず体が落ちてしまう。

左に滑り落ちる感じでタンブルして裏返る。この時自分がどうなったか覚えていない。もがいてどうにかしようとしたが、機体がかめない。そのうち体が振られスパイラル状にクルクル回りはじめる。どうにもならず振り回される。この時クロスパーが折れ機体が破壊したと思う。

レスキューに手を持っていこうとしたが遠心力でなかなかつかめない。その間かなり回りながら落下していた。やっとのことでレスキューを投げられた。

レスキューが開くのを確認と同時にショックがきた。やっと機体の回転がおさまって地上を見ることができた。地面が迫る。結構早い。このままでは民家にあたると思いい、壊れた機体を揺すってどうにかしようとした。効いたかどうか分からない。

最後は民家の裏の竹藪に囲まれた小さい池に、木にひっかかりながら着水。

しばらくどうなったか分からない。体が動くことを確認し、水没すると思い、裏返って浮いている機体に乗る。この時倒木がすぐ横にあり、つかまる。急いでハーネスのバックルと股ベルトをはずしハーネスを脱ぐ。無線機は水没して使えない。ウエストバッグを取ろうとハーネスのポケットを見ると、ファスナーが開いていて中身がない。携帯も財布も全部ない。連絡がとれない(この時上空を見上げて手をふるなど考える余裕がなかった)。

機体が沈みはじめた。機体の上を歩いて岸に近い方へ移動。覚悟して水に入る。腰までの深さで安心。岸まで歩く。竹藪を這い上がり、やっと道に出た。へたり込む。

電話を借りようとして歩いていると、落ちるのを見て探しにきてくれた地元の方に会った。ショップまで車に乗せてもらい、スタッフに無事を報告。無線を借りて状況をみんなに報告できた。この時、一緒にフライトしていたパイロット達が、私が落ちた場所を確認して駆けつけてくれた。落ちた池にすでに着いていて機体の回収を始めてくれた。

今回の事故で幸いにも落ちた場所が池で、水深も浅く怪我をしなかったのは、本当に運が良かった。

レスキューが木に引っかかっていたのでバンジー状態で着地のショックがやわらいだのかもしれない。

民家に激突でもしていたらと思うとゾッとします。幸運にも第三者に迷惑をかけな

かったので本当によかった。

貴重な体験談としてみなさんの記憶にとどめておいてください。

目撃者のレポート

以下は、当時同じサマーで回っていて事故を目撃したフライヤーM田氏からのレポート。

今回のT氏の事故について非常にショックを受けました。一緒に飛んでいて、自分自身全く危険を感じていなかったコンディションでの事故だったため、このような事故は確率的には起こり得るのだと、非常に身近に感じた出来事でした。感覚だけで飛んでる僕にとって正直言って恐いです。

ちょっと深刻に考え過ぎかもしれませんが、なぜ起こったのか？ 今後のどのように注意が必要なのか？ 無い知恵を絞って同じ空域を飛んでいたフライヤーとして自分なりに考えてみました。

なぜ起こったのか？

飛んでいて全く危険を感じないほどのコンディション。確かに、ちょっとは荒れていたが、今までの経験では全く問題は無かった。

龍門の東風のテイクオフ条件の方が格段に荒れている中、突然のライダーが垂直になるまでのタービュランス、もしくは油断による突然のタービュランスに対する対処の遅れ？がひとつの原因か？

想像ですが、T氏の報告にもあるように左バンクを緩めた直後の左翼の失速？あるいは左翼のシンクによる叩かれと右翼の上昇気流による持ち上げが同時に重なったのかもしれない。

また、左バンクを緩めるため右側に体重移動をし終えた後の体の戻しと、ライダーの傾きによる体の落下(ライダーに対して左側)が同時になり、ライダーを立て直す間が無かったのではないのか？

普通、500時間も飛んでいるパイロットは、さまざまなタービュランスの中を飛んでいて、ある程度に対処法(特にこれ！)という確証はありませんが、)は取れます。(無意識の中

での事なのか、偶然今までタンブルに入らなかっただけかも……この真相については、経験者の方々の意見を聞きたいところですが……。)しかし、そんなに荒れていない条件の、突然の変化には、よほど注意を払っている人か、経験者だけにしか対処できないのかもしれない。

完全にコントロールバーが手から離れタンブルに入る。やはりコントロールバーが手から離れてしまうと回復は困難のようです。とは言ふものの、しっかり持っておく事は不可能らしい(経験者談:いく時はいくらしい……)きつと体がグライダーに乗ってしまつたら回復不可能でしょう。

その後どのようにグライダーが壊れていったのか見ていなかったので解りません。ただセンタリング中に何か物音が聞こえたような気がして、ふと見ればT氏のグライダーが裏返りながらスパイラル状態で落ちていくのが見えただけでした。どう考えても理解が出来ないので、今後、とても不安です。

以下に問題をあげてみます。

1.飛行速度は? タービュランス時の対処として、一般的な注意点でややスピードをつけておくことが言われるが サーマルを探す時で沈下を最小限にとどめておくために、低速で飛んでいなかったのか?

2.叩かれた直前に何らかの兆候があったのか?全く無かったのか? グライダーがほぼ垂直にされるほどのタービュランスだけに、きつと拳骨サーマルと拳骨シンクがあったように思うのですが、その周りも、何らかの兆候があっても、おかしくないのでは?

リフトを探すのに集中していて、バンクを緩める時と重なり、わからなくなった事も考えられる?

3.グライダーのプレフライトチェックの見逃し?はなかったのか? ダイブスティックがはずれていたとか、リーディングエッジかどこかにクラックが入っていたのかも? それにより、左側からタンブルに入ってしまった?

4.これは最も考えたくない内の一つですが他に考えられる理由が思い付かないので……ひっくり返る時は、何してもひっくり返る?

他にも何かの原因がいくつか重なって起こったのかもしれませんが、少しでも事故が起こらないように気をつけたいと思います。特に今回の事故について、理論的に解明してくれる人(日ごろから理論的に考えている方々)がいたら、説明してもらえたらと思っています。また何か気をつけてる事があれば、教えてください。大体、角無し(キングポストレス)がどの程度ひっくり返りやすいのか、原理原則すら良く理解していない僕が飛んでること自体危険なのかもしれ

ない。

パラシュートは早めにリバックしとかないといけませんね!!

話は変わりますが、T氏が池に落ちたのを確認した後、早くその現場に行かなければ、と思い、上空から現場までの道を頭に入れてランディングに向かったつもりだったのですが、いざ向かうとなると、如何に自分が現場までの地理を把握できていなかったのか思い知らされました。きちんと把握していたM氏がいたおかげで、ほんとに速やかに現場に辿り着く事が出来ました。

事故報告2 パラグライダー

潰れによるクラバット レスキューパラシュートによる 降下不着

日時:1997年9月12日 14:30頃

発生場所:茨城県筑波エリア

天候:晴れ 南東から南風2~4m/s

雲底:900mぐらい ソアラブルな条件

機体:中級者用機

パイロット:K氏 PG経験4年

総飛行時間300h

パイロットの状態:接地による打撲のみ

経過詳細

この日は午前中に飛び立ち、既に3時間ほどフライトをしていた。何度も雲底に着いては離脱を繰り返すといったフライト。2時の時点で雲底は海拔900m、上空の風は南風。いたるところに積雲が発生していた。上昇率も最大4m/sがピークで、積雲もこれ以上の発達はないものと思っていた。遠方に見える積雲は雲長が伸びているものの、それほど急激な発達は確認できず。頭上の雲底までは50mほどであると判断し、サーマル内で旋回を続ける。上昇率が上がり始めるが、そのまま旋回。

上昇率が5m/sを越えた時点で危険を感じ、旋回をやめアクセルを踏み始める。雲の吸い上げから離脱できるも、上昇風と下降風との狭間でもみくちやになる。翼端を折ろうと手を伸ばすが、ラピッドリングに手が届かず断念。

最初の大きな潰れが起き、スパイラルダイブに入る。旋回外側のブレークを引くが旋回が止まらず、ブレークラインを手に数回巻き付け、両手で引き込む。スパイラルダイブは直り、通常滑空に戻る。

すぐに再び大きな潰れが起き、スパイラルダイブに入らないようにと、引いたブレークは、先ほど手にラインを巻き付けた状態。そのまま失速をし、強い衝撃を伴って、自由落下する。

手に巻き付けたラインをほどき、フルグライドに戻す。戻したタイミングが悪く、自

分より下方までシューティングする。傾いた状態でシュートした翼は、ラインテンションが抜けた翼端から翼中央に向けて折れ、翼端がラインカスケードの中に入り込んで絡まった状態で滑空状態に戻る。スタビライザーを引き込んで翼端の絡みを取ろうとするも、どうにもならない。

地上との高度を確認すると300mほど。荒れた空域に付け加え、1/3ほど絡んだ翼で無事にランディングできるとは考え難く、レスキューパラシュートを投げる。プライダルが伸び、セールに空気が入りすぐに開傘を確認。パラシュート側にテンションがかかると、グライダーが前方によるよると下がりだし、テンションが抜けて絡みが取れた。

バリオで沈下速度を見ると、-7m/s、-8、-9と降下速度が上がっていく。上を見上げると、パラシュートが後方へ移動し、自分を中心として、グライダーとパラシュートがY字になっている。ダウンプレーンになったとすぐに気が付き、片方のブレークコードを引き込んで、グライダーを潰す。

パラシュートは頭上の定位置に戻り、沈下速度も-4m/sまで落ちて安定した。その後グライダーを回収しているとパラシュートが揺れ、沈下速度が安定せず、かなりの衝撃で地面に接地した。

気象変化の読み違い、操作の誤り、ダウンプレーンという予期しない出来事があったにしろ、パラシュートがあったからこそ助かった。ただ、開傘後にパラシュートを揺らしてしまったために、沈下速度が安定せず、かなりの落下速度になってしまった。

後日、パラシュートの専門家に話を聞くことができた。

ボースオープン(キャノピーとパラシュートの両方が開いている状態)では、ダウンプレーン現象に陥る可能性が高い。もしキャノピーを潰すことができるなら、必ず潰した方が良いとのこと。また空中接触等で、2機が絡まってしまった状態では、一つのパラシュートで降下した方が良いとのこと。お互いにパラシュートを投げてしまうと、ラウンドタイプのボースオープンでは、ダウンプレーン現象に陥る可能性がきわめて高く、一度ダウンプレーンになれば、-14m/s以上の落下スピードにもなるそう。ボースオープンと言っても、様々な状況が考えられるので、状況よっての判断が必要とされる。パラシュートを「使ったことない」と言う人がほとんどだろうが、「使えなかった」ために命を落としている人が多い。グライダーやハーネスと同様、パラシュートのリバックや点検も細心の注意が必要なのは言うまでもなく、いざという時に「投げられるか」ということが最も重要だとのことだ。

リジッドウイング・ハンググライダーのスピン防止

CIVL 2002年7月24日 Marcus Hoffman Guben

翻訳 JHF安全性委員会 委員長 阿部 郁重

昨シーズン中、リジッドウイング・ハンググライダー(以下リジッドウイングと略す)について、何件かのスピン事故が報告されている。

本文はMarcus Hoffmann(Dipl-Math)から寄せられた貴重なアドバイスである。

まえがき

リジッドウイングにおけるスピンは初心者だけの問題ではない。“通常の飛行状態”の中でも、まったく予期しないスピンに入ったという報告が数人の経験豊富なパイロットから来ている。その原因は、翼に沿って流れる空気の一部がはがれてストールに入ることに気付くのが遅かったから、と説明されてきた。しかし、スピンの危険性を減らすためにとることができる調整段階がある。

有効なスピン防止戦略を開発するには、いつ、どのように、そして何故それが発生するかを知ることがまず必要である。パイロットの意識をはっきりさせるため、以下の諸点を総合した。

第1に、フレキシブルウイングで学んだパイロットの無意識な反応及び条件反射の分析を助け、第2にそれに伴う対応と反応を変更するよう助言した。

さらに、スピンの発生を促すと思われる構造上の特徴を詳細にわたって明らかにした。

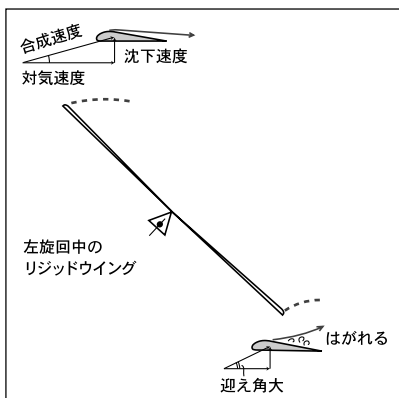
ともあれ、ここではリジッドウイングの不安をかきたて、または実体を否定したり相対化したりすることが目的ではないことを強調したい。

1 スピン

スピンは、発生、回転、回復の3段階に分けられる。

(1) 発生

スピンは、急旋回をしようとしてバーを押しすぎ、片方の翼端の空気流が翼面からはがれてストールすることにより誘起される。



る。空力的にみると、スピンの発生は対気速度の問題ではなく、翼の迎え角にのみ関係する。しかし迎え角を変えて速度を下げると、低速飛行実施中に、しばしばスピンに入る(参考図参照)。

(2) 回転

スピンにおける回転速度と飛行経路の直径及びバンク角は、通常の横方向の操作で制御することは不可能で、翼自体の質量分布に大きく依存する。すなわちスピン中はジャイロ効果が大きく働いて、操縦では制御できない危険な状態となる。

大型の機体は、最初にスピンに入れることは困難ではあるが、一度入ってしまうと勝手に回り出して手がつけられなくなる。小型の機体は、一般にスピンに入れることは容易で(ということに入りやすい)その動きがつかみやすい。

(3) 回復

高度に余裕があれば、ほとんどの場合スピンからの回復は可能である。スピンから回復させるには、バーを引いてスピードをつけ、回転に対向する方向へ体重を移動する。フレキシブルの場合よりバーは思い切って大きく引く。

回復には50~80mの高度低下をとまなう。高度不足とみたときは、直ちにリザーブを投げること。

2 スピン発生に影響する要因

主として三つの発生要因がある。翼のねじり下げ、コントロールバーの位置、そして重心位置である。

スパン方向の揚力分布、翼断面の分布、ねじり下げの分布、テーパーなどもスピン特性に複雑に関係していると思われるが、ここでは考えないことにする。

(1) 翼のねじり下げ

翼端には通常5°~7°のねじり下げが前縁を下げるが、旋回中に大きな迎え角をとって限界に近づいたとき、翼端からストールしてスピンに入るのを防いでいる。つまり、ねじり下げがスピンを抑制している。

しかし、ねじり下げは競技会などでここぞというときに加速を妨げるので、競技パイロットは故意にそれを減らそうと調整(チューニング)する。しかし、ねじり下げを減らせばストール特性に危険な影響を与える。

安全上の理由から、機体に許容された以上にねじり下げを減らしてはならない。

(2) コントロールバーの位置

飛行中、予期しない乱気流に巻き込まれたときは、カジをきかせようとして思わず

バーを引き込む。特にコントロールバーが前寄りになっている機体では、この警戒位置にすると縦の静安定(ピッチ安定)が増して、翼端失速からスピンに入る危険性を減らす。

機体設計者がバーの位置を十分前方に配置しておけば、パイロットの腕の長さは限られているから、予期しない失速やスピンを起こす可能性はほとんどなくなる。

(訳注: Aeros Stalkerはテスト中スピンによる死亡事故を起こしたが、コントロールバーを15cm前進させ、最低トリム速度を40km/hとすることで解決。Hanggliding 01年10月号)

(3) 重心位置

フレキシブルウイングの場合、サーマル中での操縦を容易にするため、通常低速側にトリムする。このことは、フレキシブルウイングでは特に問題にはならないが、その習慣をリジッドに引き継いでではない。

リジッドウイングで重心を後退させすぎると、サーマルに入って旋回を始めたときに操縦性が失われ、片翼が不意にストールしスピンに入る。さらに、リジッドウイングを低速側にトリムすると、軽くバーを操作してもストールに入り、このことも予期しないスピンの危険性を増大させる。

体重の軽いパイロットが、重いパイロットの機体を借りた場合、ハングポイントを前へ寄せて重心位置を再調整することが大切である。取り扱い説明書を読むこと。

(4) スポイラー

スポイラーを使うとロールやヨーの操縦力が得られるが、不必要なノーズアップのモーメントも発生する。したがって旋回が始まったら、バーを引き続けてスポイラーによるピッチアップを打ち消すことが大切である。

スポイラーによるピッチアップの危険性は、サーマル中を失速限界近くの低速飛行で飛行しているとき、そしてそれを使ってコアに寄せようとしているときである。このようなときは、内側の翼が不意に失速してスピンに入るおそれがある。

(5) フラップ

フラップを引いて下げ続けていると、揚力が増加した状態で一定の対気速度で飛行する。すなわち、トリム速度と最低速度は低下している。このことは、現在のすべてのリジッドウイングにみられる(fly and glide誌、Exxtacy, Atos, ESC, AtoS, ExxtacyB及びStarのテストレポート参照)。

フラップを引き続けると、機体によってピッチアップかピッチダウンの影響が出る。ピッチダウン、つまりバーが勝手に後退

した例は、E7, Atos, AtosS, Starの各機で報告されている。ExxtacyとGhostbusterでは、ピッチアップモーメント、つまりパーの前進が報告されている。

ピッチダウンをもたらすフラップではパーが後退するので、トリム位置からの押出範囲が大きくなる。こうなると翼を失速させやすく、旋回中に予期しないスピンの可能性を増す。腕の短いパイロットがAtosSをテストしたときの例がFly and Glide誌00年11月号で紹介されている。

サーマリング中は、フラップを15°以上下げてはならない。

ピッチアップをもたらすフラップの利点は明らかで、パーを押し出し過ぎてストールさせる危険性を減少し、乱気流の中で警戒位置(alert position)に入ったときにも効果がある。

(6) 動くAフレーム

フレキシブルウイングでは、Aフレームは固定されているが、リジッドウイングではスポイラーケーブルを操作するため可動式となっている(訳注:Aeros stalker はエルロンを操作)ので、スピンに入るとパイロットとAフレームは外翼方向へ投げ出される。このときパーを保持し続けると、スポイラーが内翼に対し希望しない、また制御できない反応を起こす。このことは結局、スピンからの脱出に必要な内翼に沿う空気の流れを困難にする。従って、パーの引きを強めてスピンからの回復を助けなければならない。

スピンに入ったリジッドウイングの一部無秩序な特性のため、強いジャイロ効果が生じ、特に回復段階において発生する。この力は、しばしばスポイラーの望ましくない反応により発生し、機体の強度限界を超えて破壊に至ったことさえある。米国のパイロットBo hagewoodは、大型のAtosをスピンに入れた破壊させている。

3. フレキシブルウイングとの比較

多くの経験豊富なパイロットの意見を総合し、また各種メーカーの機体を何年かにわたってテストしてきた私の経験から、次の結論に達する。

(1) 耐空性が証明されたリジッドウイングでは、ねじり下げがずっと少なくても予期しないスピンに入りやすいという一般的な傾向はない。

このことは、現在のハンググライディング界の全般的見解とは反する。しかしある種のフレキシブルウイング機は、VGをいっばいに引かなくても耐空証明された形態においてリジッドウイングよりスピンに入りやすい。この点は重要である。

(2) 運用限界

リジッドウイングにおいても、耐空性が確認された形(configuration)の限界内で飛行しなければならない。

(3) スピンの特徴

一般的に、リジッドウイングは必ずしもフレキシブルウイングよりスピンに入りやすいものではないが、実際にスピンに入ると事態は一変する。

Aフレームの取り付けに起因し、制御不能なスピンの無秩序をしばしばもたらす上述した諸問題のため、スピンに入ってしまったリジッドウイングは、フレキシブルの場合よりはるかに危険である。

リジッドウイングのスピン実験は絶対に避けること。

4 対策

自分の反射的動作を自覚し、意識的にそれらを変えてみる。フレキシブルウイングの経験で身に付いた反射的動作は、リジッドウイングでマイナスに作用しないように意識的に制御する必要がある。

リジッドウイングで限界状況を引き起こす恐れのある無意識な動作は以下のとおり。

- (1) 低速旋回のランディング・アウト。
- (2) ランディング・アプローチにおけるあまりにも低速で障害物に近い飛行。
- (3) サーマリング中、ストールポイントで飛行し、衝動的に斜方向に旋回して強引にコアに入ろうとする飛行。

リジッドウイングで安全に飛ぶためには、常に翼面に沿って流れる空気を意識していなければならない。

5 ストールポイントの警告

リジッドウイングはストールに入る前に翼からある種の警告を出し、受け取るパイロットに大きく役立つ。パーをトリム位置より前に押し出すと、

- (1) パープレッシャーが増加。
- (2) 沈下速度が増加。
- (3) 方向安定が低下(片方へ回る)。
- (4) 低速でスポイラーのききが悪くなり、方向の操縦性が低下。

これらの警告に素早く気が付くことが大切である。このことは、乱気流中で特に初心者にとっては難しい。

6 今後の見通し

ここ数年間におけるセールプレーンの開発は、滑空性能だけでなくより安易な操縦性の向上を重視してきており、そのことがリジッドウイングにも大きく影響するものと思われる。そしてその方向は、ねじり下げの増加やコントロールパーの前進というよりは、翼断面の厚さ分布の改良に向かうのではなからうか。

筆者は2001年度のドイツリジッドウイング選手権で、4年間にわたりリジッドウイングのテストパイロットを勤めている。

カレンダー

☉は開催地、☎は連絡先です。予定は変更になる場合がありますので、お出かけの際は事前に必ずご確認ください。

第19回あぶくま洞オープンカップ(HG)
10月26日・27日 ☉福島県滝根町仙台平エリア ☎大会事務局 松本圭一
TEL.0244-44-2778
E-mail:matumoto@soma.or.jp

新人戦2002(学生HG・PG)
10月26・27日 ☉山形県南陽市南陽スカイパーク(十分一山エリア) ☎日本学生フライヤー連盟関東支部 伊藤拓
TEL.0426-26-4266

平和カップ2002 in 広島
11月2日~4日 ☉広島県広島市神の倉山・荒谷山エリア ☎大会事務局 児島彰
TEL.090-22-94-9537

秋のJリーグ NASA CUP(PG)
11月2日~4日 ☉茨城県足尾山PGエリア ☎ハンググライダーショップNASA
TEL.0299-43-0893 FAX.0299-43-1854

西日本ハンググライダー選手権大会
2002 in 豊田

11月16日・17日 ☉山口県豊田町及び菊川町周辺 ☎沖津康樹

E-mail:a017dc@sty.cc.yamaguchi-u.ac.jp
紀ノ川フライトパークフェスティバル2002
パラグライダーフライトインウチタ
メイヤーズカップ

11月23日・24日 ☉和歌山県紀ノ川フライトパーク ☎大会実行委員会(UP内)
TEL.0736-77-7088 FAX.0736-77-5492

四国三郎ジャパンカップ2002(PG)
11月23日・24日 ☉徳島県美馬町三頭山 ☎大会実行委員会 TEL.089-975-4766
FAX 089-975-1298

福島県連(南東北)指導者講習会
11月30日・12月1日(泊2日) ☉福島県滝根町星の村ふれあい館 ☎福島県連事務局(カッソ内)TEL.0241-36-3363

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
				1	2	3 文化の日
4 振替休日	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23 勤労感謝の日	24
25	26	27	28	29	30	

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 年末年始 23/30	24/31	25	26	27	28	29

*南東北の教員・助教員対象だが、それ以外の希望者の参加も可。問い合わせを。

パラグライダー助教員検定
12月23日 ☉神奈川県箱根町 神奈川県連事務局 ☎神奈川県ハング・パラグライディング連盟事務局 TEL.&FAX.0460-3-5391
中村ヤスヲ TEL.045-821-6464

最新情報はJHFホームページで。
http://jhf.skysports.or.jp/
JHF事務局は12月28日から1月5日まで業務を休みます。

JHF登録スクール一覧

高く澄んだ秋空を悠々と渡っていく雲。
 田んぼの稲刈りも終わり、いよいよ本格的サーマルシーズン到来。
 「しばらく飛んでいないから練習をやり直したい」人も、
 「友だちにも飛ぶ楽しさを知ってもらいたい」という人も、
 ぜひJHFの登録スクールをご利用ください。
 JHFのホームページから各スクールのホームページを見に行くこともできます。
 こちらもお気軽にご利用を！ <http://jhf.skysports.or.jp/>

登録番号	スクール名	住所	TEL	FAX	URL	HG PG MHGMPG
18	スカイスポーツツバラグライダースクール	(〒004-0011)北海道札幌市厚別区もみじ台東1丁目2-E-7-104	090-9751-4333	011-898-1415	http://www.w9.plala.or.jp/ssr-mori/	
40	JMBルツツバラグライダースクール	(〒048-1713)北海道虻田郡留寿都村留寿都231-8	0136-46-2034	0136-46-2100	http://www.mmjp.or.jp/jmb-rusutsu/	
91	ノース・ドリーム ワインの国バラグライダースクール	(〒083-0047)北海道中川郡池田町昭栄49-6	01557-2-5929	01557-2-4009	http://www.netbeat.ne.jp/fnorth	
99	TNC バラグライディングクラブ	(〒080-0263)北海道河東郡音更町十勝川温泉南12-1-12	0155-32-6116	0155-32-6117	http://www.nature-tokachi.co.jp	
46	津軽岩木フライングスクール	(〒036-8227)青森県弘前市桔梗野5丁目6-12	090-2028-1306	0172-37-6768	http://www.rnac.ne.jp/birdman	
92	大台バラグライダースクール	(〒019-1701)秋田県仙北郡神岡町神宮寺	0187-72-3509	0187-72-3509		
76	七時雨バラグライダースクール	(〒028-7515)岩手県二戸郡安代町古屋敷96	0195-72-2103	0195-72-2103		
81	S.E.T. 三陸PGスクール	(〒022-0109)岩手県気仙郡三陸町越喜来小出59-1	0192-44-3711 (遊YOU亭内)	0192-44-1272		
11	蔵王坊平バラグライダースクール	(〒999-3113)山形県上山市蔵王坊平高原 石井ペンション内	023-679-2772	023-679-2801	http://homepage3.nifty.com/zao-bpara/	
25	ソアリングシステムバラグライダースクール	(〒999-2221)山形県南陽市柗塚1970-4	0238-40-2149	0238-40-2149		
86	X10 エクステンバラグライダースクール	(〒990-0062)山形県山形市鈴川町1-2-20	023-694-2622	023-631-7978	http://member.nifty.ne.jp/x10/	
12	オニコウベバラグライダースクール	(〒989-6941)宮城県玉造郡鳴子町鬼首字小向原9-27	0229-86-2434	0229-86-2356	http://www.hds-net.co.jp/sanmo/	
49	ホワイトテラス バラグライダースクール	(〒989-0916)宮城県刈田郡蔵王町達刈田温泉字ノ原168-84	0224-34-3783	0224-34-2586	http://homepage1.nifty.com/para-school/	
102	サンライフ バラグライダースクール	(〒980-0023)宮城県仙台市青葉区北目町3-9	022-267-2365	022-264-3413	http://www.w9.ocn.ne.jp/sun-life/	
4	瀧の岳ウィンドパーク(有)いわきバラグライダースクール	(〒972-8326)福島県いわき市常磐藤原町湯の岳24-1	0246-44-3337	0246-44-3337		
54	三ノ倉バラグライダースクール	(〒966-0103)福島県耶麻郡熱塩加納村加納五目山16-2	0241-36-3363	0241-36-3363	http://www.d9.dion.ne.jp/k.katz/	
65	会津高原レジャーサービス	(〒967-0322)福島県南会津郡岩村精舎114-2	0241-78-5066	0241-78-5010	http://aizukougen.com	
22	エアパークCoo	(〒315-0157)茨城県新治郡八郷町上曾1698-1	0299-44-1408	0299-44-1408	http://homepage1.nifty.com/airparkcoo/	
59	新治こまちバラグライダースクール	(〒300-4108)茨城県新治郡新治村小野126-7	0298-62-5355	0298-62-5358	http://www.komachipara.com	
2	スカイパーク宇都宮バラグライダースクール	(〒321-0341)栃木県宇都宮市古賀志町1800	028-652-6503	028-652-6503	http://www.skypark.ne.jp/	
67	スカイトリアル	(〒325-0001)栃木県那須郡那須町高久甲943-19	090-9859-8309	0287-64-4779	http://www.oraga.net/skytrial/	
14	トップフィールドバラグライダースクールぐんま	(〒378-0126)群馬県利根郡白沢村上古語父9-1	0278-20-9006	0278-20-9106	http://www.w8.wind.ne.jp/topfield/	
36	軽井沢スカイパーク	(〒377-1615)群馬県吾妻郡嬭恋村鎌原1053	0279-86-5180	0279-86-5180	http://www.windybel.com	
79	榛名町バラグライダースクール	(〒370-3347)群馬県群馬郡榛名町中室田4213	027-374-4252		http://www.geocities.co.jp/Athlete-Athene/8999/	
29	スカイエンジェル	(〒299-1135)千葉県津市津市杉谷23-7	0439-55-1123	0439-55-1123	http://www.w1.plala.or.jp/Skyangel/	
41	ジェネス バラグライダースクール	(〒336-0017)埼玉県さいたま市南浦和3-33-14	048-882-2730	048-882-2517	http://genese.co.jp/	
42	登谷山バラグライダースクール	(〒360-0036)埼玉県熊谷市桜木町1-8	090-1556-4235	048-527-3279		
58	彩の国こまちバラグライダースクール	(〒355-0366)埼玉県比企郡幾川村大野勝負平	0493-67-1788	0493-67-1787	http://www.komachipara.com	
75	Y.S.C 箱根バラグライダースクール	(〒250-0521)神奈川県足柄下郡箱根町箱根381	0460-3-6958	0460-3-5391	http://plaza9.mbn.or.jp/familyk/ysc/	
5	KPS富士見高原バラグライダースクール	(〒399-0211)長野県諏訪郡富士見町富士見3667-4 フォレス三井A-101	0266-66-2278	0266-66-2278	http://www.kids-sports.co.jp	
16	白馬ポップ・バラグライダースクール	(〒399-9301)長野県北安曇郡白馬村北城3020-1	0261-72-5061	0261-72-5947	http://www.hakuba.org/pop/	
17	エコーバレーグリーングラスPGスクール	(〒386-0601)長野県小県郡長門町姫木平	0268-69-2001	0268-69-2005	http://www.andermtt.co.jp	
24	木島平バラグライダースクール	(〒389-2303)長野県下高井郡木島平村 木島平スキー場内	0269-82-4100	0269-82-4350	http://www.dia.janis.or.jp/kijijmaps/	
50	JMB白馬バラグライダースクール	(〒399-9301)長野県北安曇郡白馬村北城14718-167	0261-72-7470	0261-72-7470	http://jmb-h.cside8.com	
69	JMB富士見パノラマバラグライダースクール	(〒399-0211)長野県諏訪郡富士見町富士見6666-717 富士見パノラマスキー場	0266-62-7691	0266-62-7691	http://www.windhop.com	
78	桐池バラグライダースクール	(〒399-9422)長野県北安曇郡小谷村桐池高原	0261-83-2521	0261-82-3082	http://www.janis.or.jp/users/tugapara/	
80	Fream ハンググライディングスクール	(〒389-2418)長野県飯山市寿857 サンロッジ泉荘内	090-6047-8323	03-3429-1506	http://homepage1.nifty.com/Fream_HG/	
96	EL'Sバラグライダースクール	(〒399-9301)長野県北安曇郡白馬村北城11552	0261-72-6022	0261-72-6022		

登録番号	スクール名	住所	T E L	F A X	U R L	HG PG MHGMGP
103	白馬パラトピア五竜パラグライダースクール	(〒399-9211)長野県北安曇郡白馬村神城22184-10 白馬五竜スキー場内	0261-75-3210	0261-72-3837	http://homepage2.nifty.com/paratopia-goryu/	
8	ハンググライダースクール パーズアイビュー	(〒503-0532)岐阜県海津郡南濃町太田873-3	0584-56-3407	0584-56-3407	http://www.birds-eye-view.net	
20	東海ハンググライダースクール	(〒503-2429)岐阜県揖斐郡池田町藤代985-1 ハンググライダープロショップズーム内	0585-45-9214	0585-45-9214	http://www.ogaki-tv.ne.jp/zoom/	
97	エアロクルーズ	(〒500-8463)岐阜県岐阜市加納新本町4-17	058-276-4452	058-276-4452	http://www1.sphere.ne.jp/aerocruise/	
15	忍野スカイスports倶楽部	(〒401-0512)山梨県南都留郡忍野村内野2661	0555-84-7561	0555-84-7561	http://www.oshinokysports.com	
21	今井浜フライングスクール	(〒413-0503)静岡県賀茂郡河津町見高51-2(東伊豆)	0558-34-0708	0558-34-0708	http://www.imaihama.com	
90	イクス	(〒419-0104)静岡県田方郡函南町畑374-63	055-974-3458	055-974-3458	http://www.asahi-net.or.jp/YB7HSMN/startn.html	
100	朝霧高原パラグライダースクール	(〒418-0101)静岡県富士宮市根原字宝山282-1	0544-52-1031	0544-52-1033	http://www.dkskyworld.com	
35	ロコ スカイスports	(〒491-0015)愛知県一宮市大赤見八幡西3番地	0586-73-0854	0586-73-4665	http://www.lokosky.com	
47	FIELD-KIDS付知パラグライダースクール	(〒470-2105)愛知県知多郡東浦町藤江字山敷101-1	0562-83-3659	0562-83-8843	http://www.fieldkids.com	
52	中日パラグライダースクール	(〒462-0823)愛知県名古屋市中北区	052-911-0537	052-981-4321	http://www.h3.dion.ne.jp/chunichi/	
3	S E T尾神岳	(〒949-3552)新潟県中頸城郡吉川町尾神	0255-47-2066	0255-47-2066	http://www.h3.dion.ne.jp/skyokami	
71	A F Cパラグライダースクール	(〒949-2218)新潟県中頸城郡妙高村花房80	0255-82-3532	0255-82-3532		
98	ジェネスパラグライダースクール神立校	(〒949-6102)新潟県南魚沼郡湯沢町神立4121-1 神立高原スキー場	0257-84-3039	0257-84-3039	http://www.genese.co.jp/kandatsu/	
57	となみ野パラグライダースクール	(〒939-1824)富山県東礪波郡城端町大銀屋125	0763-62-4133	0763-62-4133		
83	S.E.T.富山 牛岳パラグライダースクール	(〒930-0174)富山県富山市野町24-6	076-436-5947	076-436-5947	http://www.geocities.co.jp/Athlete-Sparta/5089/	
74	ジャムSports パラグライダースクール	(〒911-0000)福井県勝山市170-70 スキージャム勝山 レンタルプラザ2階	0779-87-6311	0779-87-6311	http://jamsports.tripod.co.jp	
56	S P Lパラグライダースクール	(〒521-0312)滋賀県坂田郡伊吹町上野1855 伊吹高原荘内	0749-58-2020	0749-58-2019	http://www.biwa.ne.jp/splpara/splhp/spl.html	
95	伊吹山パラグライダースクール	(〒521-0321)滋賀県坂田郡伊吹町上野1488-2	0749-58-1382	0749-58-1382	http://www.BLUESKY3.NET	
34	パーズ パラグライダースクール	(〒606-8257)京都府京都市左京区北白川西伊織町17	075-702-0665	075-702-0665	http://web.kyoto-inet.or.jp/people/birds/	
82	ハイウエーブP Gスクール	(〒616-8122)京都府京都市右京区太秦井戸ヶ尻町27-4	075-882-3761	075-871-9503		
93	京都ハングパラグライディングスクール	(〒607-8116)京都府京都市山科区小山谷守町21 京都エアスポーツ内	075-593-7979	075-593-7979		
32	ゼロ パラグライダースクール	(〒563-0043)大阪府池田市神田4-14-2	0727-53-8890	0727-53-8830	http://www.zero-para.co.jp	
39	UP パラグライダースクール JR パラグライダースクール 堀川	(〒649-6413)和歌山県那賀郡打田町竹房391	0736-77-7088	0736-77-5492		
1	アークパラグライダースクール	(〒669-5365)兵庫県城崎郡日高町十戸313	0796-44-0088	0796-44-0171	http://www3.ocn.ne.jp/arcpa/	
6	クロスフィールドパラグライダースクール	(〒669-5379)兵庫県城崎郡日高町名色189(神鍋高原内)	0796-45-1390	0796-45-1396	http://www.inaker.or.jp/cf/	
7	さのう高原パラグライダースクール	(〒679-3453)兵庫県朝来郡朝来町さのう高原	0796-77-0063	0796-77-1110	http://www.sanou-paraglider.com	
31	T A Kパラグライダースクール	(〒669-3831)兵庫県氷上郡青垣町市原771-1	0795-87-0501	0795-87-0579	http://www.tak.ne.jp	
64	ロールアウトパラグライダースクール	(〒669-3811)兵庫県氷上郡青垣町佐治23-1	0795-87-1825	078-947-1743	http://www.rollout.jp/	
88	ウエスト・ジャパン・パラグライダースクール	(〒667-1100)兵庫県養父郡関宮町大久保1593-2	0796-67-7263	0796-67-7833	http://homepage1.nifty.com/west-japan-pgs/	
94	J M B関西パラグライダースクール	(〒669-4322)兵庫県氷上郡市島町上田125-1	0795-85-1077	0795-85-1305	http://www.remus.dti.ne.jp/kanpara/	
104	猪名川町パラグライダースクール	(〒666-0204)兵庫県川辺郡猪名川町柏原尾ヶ嶽1	079-594-4777	079-594-4777	http://www5.nkansai.ne.jp/com/inagawapg/	
13	N Cおあさパラグライダースクール	(〒719-3503)岡山県阿哲郡大佐町小阪部2240-1	0867-98-3400	0867-98-3120	http://ww1.tiki.ne.jp/set/	
30	大ヶ山パラグライダー教室	(〒706-0313)岡山県玉野市西田井地2074番地	0863-41-2293	0863-41-2293		
70	つばさ倉敷パラグライダースクール	(〒712-8061)岡山県倉敷市神田4-1-10	086-444-2324	086-444-2324	http://www.d1.dion.ne.jp/topwing/	
48	タートルズ パラグライダースクール	(〒733-0815)広島県広島市西区己斐上5-43-1 ビューハイツ己斐上105号	082-274-4112	082-274-4112		
89	コットンクラブ	(〒739-1301)広島県広島市安佐北区白木町并原816	082-828-7788	082-828-1203	http://www3.kyosai.or.jp/cotton/	
38	ラブラブ	(〒742-0021)山口県柳井市宮野1915-24	0820-22-5764	0820-22-5767		
101	クラウドベース	(〒742-0301)山口県玖珂郡周東町祖生6318-3	0827-84-5333	0827-85-0568	http://www.cloudbasenet.com	
33	讃岐パラグライダースクール	(〒761-8041)香川県高松市権楯町1619-1	087-886-7397	087-886-7397		
53	スカイトレックパラグライダースクール	(〒769-0103)香川県綾歌郡国分寺町福家216-7	087-874-2902	087-874-2902	http://www.skytrek.org	
77	E S D P Gスクール	(〒791-8043)愛媛県松山市東垣生町810 ウィンドバルESD	089-971-3190	089-971-3731	http://homepage1.nifty.com/ESD/	
43	宮崎スカイスports	(〒882-0033)宮崎県延岡市川原崎町165-3	0982-21-5570		http://www.m-skysports.com/	
44	S E Tウインドラブ吉松パラグライダースクール	(〒899-6102)鹿児島県姪良郡吉松町中津川418-1	0995-75-2755	0995-75-2757	http://www1.ocn.ne.jp/windlove/	

高岡エリアからテイクオフ。

県
連
だ
よ
り



南国高知もサマー良好!

高知県ハング・パラグライディング連盟
理事長 毛利 謙作

高知県連の概要

高知県連は、高知県内でのハング・パラグライディングの健全な発展のため1993年に発足し、JHFの正会員となりました。現在会員は約110名いますが、県内フライヤーとしては、もう20名ぐらいいは多くいるかと思えます。

県内のエリア

高知県は、四国の太平洋に面した部分で、多くのエリアが海の見えるところにあります。山間部を除き、雪が降ることは年に数えるほどで、雪クローズはあまり聞いたことがありません。

安田、久礼田、高岡、平野、虚空蔵山、吾川、市五郎山などのエリアがありますが、字数の都合上、一番多くのフライヤーが飛んでいて、県外からも交通の便が良い高岡のみ簡単に紹介させていただきます。

上の大きな写真は高岡のTO(テイクオフポイント)ですが、海から9kmで、安定した海風が入ってきて、かなりのソアリング率を誇っています。(過去1年間の私の成績は、20/23本=87%!)



高岡ランディングとなる仁淀川河川敷(手前)

海から近いので雲底はあまり上がりませんが、TOから太平洋が見え、LD(ランディングゾーン)は仁淀川の広い河原です。

冬は確率が下がりますが、冬型がきつくなければ結構飛べてしまいます。道路公園の民営化議論の中、最近すべり込みで高速が開通し、土佐ICが眼下にできました。

毎年8月の最終日曜日には「土佐市パラグライダー大会」を開催しており、今年49名のエントリーの中、愛媛の和田武勝選手が貫禄優勝。なお、この大会では前夜祭も好評です。

他のエリアは下記の高知県連ホームページで紹介させていただいていますので、ぜひご覧ください。つい最近大幅更新し、URLも変わりました!

<http://kochi-hpf.hp.infoseek.co.jp/>

高知県連の活動

県連の活動としては、大会の主催・後援、体験講習会・救急法講習会・リパック会の開催など、他の県連とだいたい同じようなことをしていますが、最近では、「このエリアで飛んでみようツアー」と題し、普段大会を開催し



タンデム+

ていないエリアで、交流目的のお遊び大会も開催しています。

自分達が楽しむだけではなく、飛びたい人が飛べるようにと、体験講習会には力を入れており、毎年約30名の参加者に喜んで帰っていただいているのですが、その割にはほとんど効果がないのが悩みです。フライヤー数のじり貧はハングにおいて深刻で、一番大きいクラブである高知ハンググライダークラブも、ハングメンバーにとっては「高知ハンググライダー保存の会」と化している状態です。

あまり体験会でいい思いをさせてしまうと、それで満足してしまうのでしょうか。そこらへんをうまくやっているところのノウハウを、どなたか教えていただきたいです。

高知県連への問い合わせは下記まで。

高知県ハング・パラグライディング連盟
理事長兼事務局 毛利謙作
〒780-0051高知県高知市愛宕町3-4-16-201
TEL&FAX088-871-5502
E-mail kensaku.mouri@nifty.ne.jp



吾川スカイパークのテイクオフ&ランディング。

県連ニュース

福島県ハンググライディング連盟

[指導者講習会開催のお知らせ]

11月30日・12月1日、1泊2日の日程で、南東北の教員・助教員を対象に指導者講習会を開催します。場所は、福島県滝根町、星の村ふれあい館。講師5名による講習で、指導者に必要な知識等を身に付け、また復習します。坐学だけでなくフライトも予定。技能証更新の際、講習会に参加しない方は県連推薦を受けられませんので、ご注意ください。教員・助教員以外の方もご参加いただけます。お問い合わせは福島県連事務局 TEL.0241-36-3363(カッツ内)まで。

前号でお知らせしたように、8月3日・4日開催の「第7回全国アウトドアスポーツフェスティバル inふくしま」に当県連も参加しました。福島県体育協会加盟により委託を受け、県営あづま総合運動公園でハンググライダー・パラグライダーの体験教室を実施。当日は風がよく、延べ500人の体験者全員がフワッと舞い上がり、大喜びでした。夏休みとあって体験者の三分の二は子ども。非常に暑くスタッフはたいへんでし

たが、子どもたちの嬉しそうな顔に疲れも吹き飛びました。

兵庫県フライヤー連盟

[助教員検定&フェスティバルのお知らせ]

お待たせしました。今年も下記のとおり助教員検定会と第5回兵庫県スカイフェスティバルを行います。

2002兵庫県助教員検定会

日 時:11月2日(土)

8:30a.m. 受け付け

場 所:兵庫県氷上郡青垣町スカイスポーツエリア

受付場所:道の駅青垣 8:30a.m. 集合

費 用:エリア料(1日2000円)と検定料が必要。

検定内容:学科試験・実技試験

参加資格:P取得後1年以上のスクールアシスタント経験者。

JHF登録者。

予備講習会を行います。

詳しくは県連事務局TEL.0796-45-0598

U P長谷川まで。

第5回兵庫県スカイフェスティバル
前夜祭 - 11月2日(土)

5:00p.m. 丹波青少年の家

参加費は1人1000円・泊4000円

朝食付。誰でも参加OK。

11月3日(日)

受け付け:8:00a.m.~8:30a.m.

集合場所:青垣町スカイスポーツエリア
ランディング横駐車場

参加料:2000円(昼食代込み)

参加資格:JHF登録者なら誰でも参加可

イベント内容:フリーフライト・ターゲット・団体対抗線・タンデムフライト。雨天の場合は技術セミナー開催。

訂正

前号の「県連ニュース」埼玉県ハング・パラグライディング連盟の記事に誤りがありました。

誤 理事長:立澤一男、関光義

正 理事長:立澤一男

理事長は立澤氏一人で、関光義氏は理事です。ここに訂正し、立澤・関両氏、埼玉県連をはじめ、ご迷惑をおかけした皆様にお詫び申し上げます。

JHF広報出版部

理 事 会 ダ イ ジ ェ ス ト

9月13日理事会

2002年9月13日(金) 13時~17時 JHF事務局会議室
出席:朝日和博、伊賀隆一郎、関谷暢人、瀬戸口裕郎、田中美由喜、長谷川光雄、藤野光一、松永文也、宮川一郎各理事 欠席:宮田富由、横尾和彦各理事、宮川雅博監事 出席理事9名、定足数を満たし成立 議長:田中美由喜

審議1:総会、理事会傍聴規約について(制度委員会答申)傍聴規約(案)が制度委員会から答申された。総会と理事会の性質上、二つを分けて審議。案に一部修正を加え、採決の結果、賛成8、反対0で総会の傍聴規約(案)が可決した。

審議2:理事会の傍聴規約(案)について
理事会の活動内容を公開して欲しいとの意見が出されているが、理事会で話される内容は、JHFが機関として発表すべきでない内容や、個人的なことも多い。将来的には傍聴を認める規約を作る方向で意見が交わされた。採決の結果、賛成0、反対5、棄権3で否決した。理事会の公開については、制度委員会に差し戻すことで全員同意。

審議3:JHFにおける規程の作成管理規程について(制度委員会答申)

「JHFにおける規程の管理要領」とし、第3条を「本法人が定める規程は会員に開示されなければならない」、第4条を「規程に改定があった場合、理事会が重要と判断した場合は改定の日、改定の機関を明記し速やかにJHFが有する広報手段を通じて会員に公示されなければならない」、6条を「補助的な保存方法」と修正することで審議。採決の結果、賛成8、反対0で可決した。

審議4:活性化対策委員会の継続について

6月通常総会で活性化対策委員会の活動が条件付きで可決された。その条件は、第1回を開催し、その成果によって継続するか否かを理事会で決定するというもの。活性化対策委員会の第1回目の内容から、JHFに対するニーズその他、いろいろな意見が出てきており、今後JHFのプラスになる要素が大きいと判断。活性化対策委員会の継続について採決の結果、賛成7、反対0、棄権1で可決した。

審議5:モーターパラグライディング教員技能証新設に伴う移行処置事業について

モーターパラグライディング教員技能証新設に伴い、移行処置を11月~12月にかけて行う。採決の結果、賛成8、反対0で可決した。

審議6:平成14年度都道府県連盟の普及活動に対する助成金の交付について

各都道府県連盟が無料体験会活動をするための助成金の交付について、普及推進担当理事から上程された。体験者5名に対し指導員1名、指導員1名に対し1000円の助成金を年度末に交付する。ただし予算が40万円と限られているので、申請多数の場合は案分する。採決の結果、賛成8、反対0で可決した。

審議7:理事会体制の強化について

今年度未だの契約で、理事会に関する専門業務を関谷常任理事が担当、事務局に常駐する。採決の結果、賛成7、反対0で可決した。

* 8月は理事会が開催されませんでした。

理 事 活 動 報 告

会長 朝日 和博

全国的なフライヤーの組織ができてから4半世紀が経ちました。そしてJHFが社団法人となつてから7年が経過しました。また、今年でフライヤー会員登録の移行が完了します。これまで多くの方々のお力添えによりJHFはここまで育てて頂きました。そして今、未来のJHFを再構築するため、JHF活性化対策委員会が動き出しました。電子メールを活用しながら、メンバーの関連な意見交換が始まっています。これによりJHFの進むべき道を明らかにしていきたいと考えています。また皆様のご意見も取り入れていきたいと思っておりますので、JHFまでお知らせ願えば幸いです。

この後は2003年度の予算の編成作業が始まります。

常任理事 関谷 暢人

この2ヶ月間は夏ということもありイベントが多く、ま

た、通例の会議も重なり忙しい次期でありました。

7月24日:補助動力委員会会議出席

27~28日:鳥人間コンテスト出張(機体検査委員として)

8月3・4日:吉野川フライライン出張(着水セミナー講師として)

7日:常任理事会

28日:活性化対策委員会会議出席

9月3日:日本航空協会訪問

12日:航空スポーツシンポジウム打合せ会議出席

13日:定例理事会

18日:安全性委員会「事故調査研修会」出席

20日:日本航空協会主催「空の日」イベント参加

トピックスとしては、9月20日の「空の日」に開催された「第72回航空神社例大祭(航空平安祈願大祭)」に参加したことを報告いたします。東京は新橋の航空会館9階にある

JHFの理事は、それぞれが担当する事業が滞りなく進行するよう、さまざまな仕事をしている。
7月下旬から9月下旬までの活動内容を各理事に報告してもらおう。

「航空神社」で毎年開催されるこの行事はスバツと晴れ渡った秋空の下で、日本航空協会のメンバーはもちろんの事、国土交通省・防衛庁・民間エアライン各社、そして、我々スカイスポーツ愛好者統括団体の代表者、総勢70名ほどが集まり、「航空界の平安と安全と穏やかな空の持続と発展(利光)AA会長談」を祈願しました。

このところ事故が目立ちますが、今後後半は「穏やかな空」となることを望みたい。

理事 藤野 光一

7月、8月は理事会もなく本業に専念させていただきました。8月上旬には制度委員会、下旬には「JHF活性化対策委員会」が開催されましたが、仕事の都合で出席出来ませんでした。委員の方々はこの場をお借りしてお詫び申し上げます。

委員会の動き

パラグライディング競技委員会

2002年度秋のシーズンがスタートしています。前半が天候に恵まれず7大会中2大会、3本の成立といった少し寂しい結果に終わっています。後半に期待しましょう。この号が出る頃には日本選手権者が誕生していることを期待し、世界に目を向けるとPWCもシーズン終了し日本選手の活躍はどうだったかが気になります。日本の大会もGPSを採用したレースが行われていますが、海外で当たり前のようにGPSレースを行っている扇沢委員からの提案で、少しルールの見直しを予定しています。あくまでも世界での採用に合わせていこうとしています。

選手の皆さんを見ても、まだGPSの使い方に不安があるようですが、カメラを使っていた頃のように不安無くレースが戦えるようなトレーニングをしていただきたいと思います。2003年も全大会がGPSになる予定にはなっていませんが、少しずつ増えてくると思います。

2003年には世界選手権がポルトガルで予定されています。

[記:曾我部 真人]

ハンググライディング競技委員会

ハンググライディングプレ日本選手権 in Ashio 2002、2002デサントパードマンカップ獅子吼 第21回大会の大会結果をホームページに掲載していますのでご覧ください。

また、2003年シーズンからGPSの全面運用を開始します。2003年ルールブック改定案をホームページにて告知しています。告知改定案に対するご意見は11月4日まで受け付けていますので、競技委員会事務局にお願いします。

今後は当委員会の情報はホームページにてお知らせ致しますので、よろしく願います。

尚、委員会事務局にメールをくだされば競技委員会インフォメーションをお送りします。

H G競技委員会事務局

E-mail:haku@effect-jp.net

http://tomato.saino.jp/haku/JHF-HG.html

[記:日下部 はく]

教習検定委員会

新しいパラグライダー教本

全面改訂を予定していたのですが予算の都合上、一部訂正したものとなりました。関連省庁の名称変更や表現のまぎらわしい部分の訂正が主ですが、「オーバーヘッドアプローチ」の実施要領など、重要な変更も数箇所あります。教育にたずさわる方々はもちろんのこと、フライヤーの皆様も新しくなった教本でより確実な知識を身に付けてください。新しい教本は8月下旬に発行されています。

技能証学科試験問題の作成

現在、委員会ではパラグライダーA級と

B級の学科試験問題の見直し、および助教員検定学科試験問題の作成作業をしています。特に助教員検定の学科試験問題は、その内容を含めて全て各都道府県連盟に一任して実施されてきましたが、難易レベルの統一と各県連からの要望、そして技能証規程に基づき作成することとしました。ご意見やご要望がございましたら、JHF事務局までご連絡ください。

[記:小野寺 久恵]

補助動力委員会

委員会が新メンバーで構成されてから既に2度の会合を重ね、ようやく堅さもほぐれ、今は全員フル回転で委員会活動にあっています。

さて、今回のJHFレポートが発行される時には、すでにMPG選手権は終了しています。過去5回の選手権は毎年10月開催でしたが、今年は茨城県関城町に於て9月に開催しました。結果は、このJHFレポート(3ページ)ホームページ補助動力委員会コーナーをご覧ください。

11月からは「MPG技能証移行認定」の申請を受け付けます。どのくらい申請が来るものか、フタを開けてみないとわかりませんが、なるべく大勢のMPG・PPG愛好者が結果してくれることを期待しています。

現在、PG補助動力技能証フライヤーは全国で800名余を数えますが、実際に補助動力フライト活動を行っているフライヤーは、半数以下と考えられます。過去に2度、全フライヤーを対象にした往復葉書によるアンケートを実施しましたが、回答があったのは1/4と1/3程度でした。これは、補助動力技能証フライヤーリストと実際の活動フライヤーが一致していないためです。

これからは、MPGパイロット証による「統一されたフライヤーリスト」ができることにより、補助動力委員会が提唱する「フライトルール・フライトモラル」がアナウンスし易くなりました。また、永らく休刊していた「MPGフライト手帳」を復刊させ配付することにより、さらに全国のパワード愛好者とのコミュニケーションを深めたいと考えています。

[記:山崎 勇光]

制度委員会

理事会諮問事項の答申

理事会より総会、理事会についての傍聴の規程についての諮問がありました。8月に委員会を開催し、事務局との連携で規程案を作成し、9月の理事会に提出しました。

文書管理の規程案上程

前回総会で、定款の誤植がありました。これは文書管理が出来ていないためです。JHFにおける定款、規約、細則、規程などの定義を明らかにし、文書管理の規程を作るべきだと考え、9月の理事会に委員会案を上程しました。

制度委員会は現在2名ですので、あと3名の委員を継続募集中です。通常はメール会議で活動いたしますので、メール環境をお持ちの方の応募をお待ちしています。詳細はJHF事務局にお問い合わせください。

[記:小林 秀彰]

安全性委員会

阿部郁重委員長からJHFへの提案により、JHF事故調査研修会が、9月18日に東京都文京シビックセンターで催されました(写真)。講師の藤原洋氏(元国土交通省航空事故調査官)が、過去の航空機事故状況、対応の仕方、調査の方法等を説明。特に調査結果が利用されず、同じ事故の再発する例が多いのは残念と強調されました。



研修会後の委員会で、各委員の役割を以下のとおり決定しました。副委員長:斉藤紀型式登録審査委員:岡良樹 型式登録審査委員・専門委員:幸路尚文 事故調査部会長:下山進 事故調査部専門委員の任命については下山部会長に一任。

また、事故調査手順案を可決。9月15日の兵庫県での重大事故については、下山・岩井両委員が現地調査することに。

斉藤副委員長より事故データの分析結果の報告。キャンピの設計において、安全性より速度性能の方が優先されているのではないかと懸念が示されました。

[記:幸路 尚文]

活性化対策委員会、始動。

連盟の活性化を目標に掲げる専門委員会、JHF活性化対策委員会が活動を開始しました。

8月28日に第1回委員会を開催。JHFが抱える具体的な問題点の抽出や改革案についてブレインストーミング、100を越える意見が出されました。これらの意見からJHFが目指すべき方向を考えていきます。ご意見・ご要望は、お気軽にJHF事務局までお寄せください。

活性化対策委員は以下の皆さんです。青森県連-古川正司 岩手県連-寺島昭 茨城県連-板垣直樹 石川県連-江端邦昭 静岡県連-森下英樹 岡山県連-関口泰生 福岡県連-小林秀彰



第1回委員会参加者。左から板垣、伊賀理事、江端、関口、小林、古川、関谷理事、寺島、漆石事務局長。(敬称略)

@sky

空の情報いろいろありのページ、その名もアット・スカイ。
いつでも心は空の彼方というあなた、必読！
もちろん寄稿も大歓迎。
「お題はなあに？」や「大会報告」、エリア紹介、フライト自慢、
JHFへの意見など、どしどし送ってください。
koho@jhf.skysports.or.jp FAX.03-5840-8312

NEWS

スポーツ振興くじ助成金の交付

JHFは、より充実した活動を行うため、種々の助成金にアプローチをかけています。今年度は、日頃の活動が認められ、スポーツ振興くじ助成金の交付が決まりました。

この助成金は、サッカーくじtotoの収益によるもの。スポーツ団体のスポーツ活動推進事業枠のうち、スポーツ指導者の養成・活用のために130万円、スポーツ情報の提供（JHFレポート発行）のために244万円、合計374万円の助成金が交付されます。

岡山県大佐山でPG日本選手権

10月9日から14日まで、岡山県阿哲郡大佐町の大佐山フライトエリアで「2002パラ

グライディング日本選手権大会 in おおさ」を開催しました。9日は公式練習と機体審査。10日から14日まで、全国から集まった選手が日本一をめざして競いました。

競技の様子や成績はJHFレポート次号で報告します。また、JHF ホームページに速報を載せていますので、ぜひご覧ください。

宮崎県でスカイレジャー・ジャパン

11月9日・10日に、宮崎県都城市上水流域大淀川左岸河川敷で「スカイ・レジャー・ジャパン '02 イン都城」が開催されます。JHFは実行委員会の一員として参加、宮崎県ハング・パラグライディング連盟が運営に加わります。

スカイ・レジャー・ジャパンは今年で14回目。年に一度、日本各地でスカイレジャーを紹介してきました。今回の開催地

である都城市は、15年前から「スカイフェスタ in 都城」を開いており、その活動が国際航空連盟に評価され、FAI オノラリー・グループ・ディプロマを受賞しています。

自分で飛ぶのはもちろん楽しいけれど、広い河川敷でデモフライトを見たり、展示ブースをまわるのもおもしろそうです。入場・駐車は無料。家族一緒にどうぞです。

スカイスportsシンポジウム

12月7日・8日の両日、東京都新橋の航空会館で、(社)日本航空宇宙学会主催、(財)日本航空協会共催の「スカイスportsシンポジウム」が開かれます。

このシンポジウムは「スカイスports研究者と愛好者の交流ネットワークの拡充、将来のコミュニティのコアの育成を図る」ことを目的としています。誰でも予約無しで参加できますので、興味のある方は、ぜひ。参加登録料は一般が1,000円、大学生500円、高校生以下は無料です。

タメにならない航空史-10

輸入機あれこれ(1) 高い買い物

矢ヶ崎弘志

日本は昔から数多くの航空機を輸入してきた。その種類も今風にいうブランド物から珍品まで様々である。

1928年(昭和3年)に毎日新聞が社用機として輸入した、ライオンNYP(ご存知「スピリット・オブ・セントルイス」の同型機)などは、その珍品のひとつに数えてよい。NYPはニューヨーク〜パリ間を飛ぶためだけに造られた、リンドバーグの特注機なんだから、その本性は安定性が悪いうえに、操縦席の前方視界がゼロの、実用性に欠ける機体なのだ。



改造後のライオン NYP-2



輸入された当時のライオン NYP-2

この機体を毎日新聞が買った目的ははっきりしないが、1928年4月27日、同社航空部員の羽太はぶと 文夫が操縦し、日の出から日没までの15時間25分で、全航程2,100kmの無着陸本州一周飛行を達成した。

しかし、記録に残っている飛行はこれくらいなもの。使い勝手が悪すぎるというので、その後3人乗りへ改造されてしまう。操縦席を前上方へ移動させて視界を確保し、空いたスペースに2人分の座席を設けて、実用性をもたせたのだ。

この改造が思わぬ事件の種となった。作業を引き受けた某航空機メーカーの計算間違いから、重心位置が極端に前方へ移動していたのである。羽太パイロットが異変に気づいたのは試験飛行の当日、それも離陸滑走中のこと。時すでに遅く、機体は地面を離れてしまった。エンジンを絞ると機首が下がるから操縦は極めて困難で、最悪のことも予想した羽太パイロットは、操縦席の壁に状況とデータを書き残すという深刻な事態になった。どうにか着陸はしたものの、最後は逆立ちとなって停止した。

羽太パイロットは無事で、機体もプロペラを損傷した程度だったが、それ以降修理されて報道取材用に活躍したという話は聞かれない。一説には原型に戻されたともいうが、確かなことは不明である。

「スピリット・オブ・セントルイス」の価格は約1万5千ドル。もし同じ金額で買えたとしても、当時の為替レートで3万円程の出費である。費用対効果比という点からすると、随分と高い買い物であった。



大会報告

NASA STUDENT CUP 2002「熱い夏」
2002年8月7日～9日
茨城県八郷町足尾山エリア

- [1stクラス]
- | | | | |
|----|-------|-----|--------|
| 1位 | 永光 秀明 | 千葉県 | 1000点 |
| 2位 | 伊藤 宙陸 | 茨城県 | 935.9点 |
| 3位 | 永井 洋平 | 東京都 | 860.5点 |
- [2ndクラス]
- | | | | |
|----|-------|-----|--------|
| 1位 | 西村 豪 | 千葉県 | 1000点 |
| 2位 | 石田 武司 | 千葉県 | 929.6点 |
| 3位 | 中里 容子 | 長野県 | 913.8点 |

学生リーグ初戦であるこの大会に全国から1st、2nd合わせて53名の学生フライヤーが足尾山に集結した。初日は好条件に恵まれ、2ndクラスからゲートオープン。彼らが上がりに始めたのを見た1stクラスの選手もすばやく準備しテイクオフ。サーマルがまともならず、選手は上げ渋っていたが、足尾山頂に雲が出来始めると、一気に大きなガグルができあがった。比較的取りやすいパイロンもあったが、少し沖にある小学校をとり、山に戻れたかどうか勝負の明暗を分けた。

1stクラスは5名の選手が23.3kmのタスクをまわりゴール。2ndクラスの選手も3時間近く飛び、熱い戦いが繰り広げられた。

大会2、3日目は強風のためキャンセルとなり、初日に1位を取った1st永光選手、2nd西村選手が優勝を果たした。団体戦においても、永光、西村両選手が所属する日大理工EPOが優勝した。

第1回池田山カップ
2002年8月10日～13日
岐阜県揖斐郡池田町池田山フライトエリア

- | | | | |
|----|-------|-----|-------|
| 1位 | 氏家 良彦 | 兵庫県 | 1386点 |
| 2位 | 毛利 謙作 | 高知県 | 1336点 |
| 3位 | 桂 敏之 | 茨城県 | 1061点 |
| 4位 | 鈴木 博司 | 岐阜県 | 997点 |
| 5位 | 内藤 崇裕 | 静岡県 | 946点 |
| 6位 | 山本 毅 | 静岡県 | 917点 |
| 7位 | 岡田 伸弘 | 静岡県 | 896点 |
| 8位 | 村松 学 | 茨城県 | 863点 |

[女子]
1位 井出 有生 兵庫県 711点
大会2日前に発生した日本海側の前線により大気状態が非常に不安定となり、全体的に渋い条件となった。大会初日、2日目は雲低も低く、パイロンをクリアするためには非常に困難な条件の中、1/3の選手がミニマムをクリアした。3日目は雷雲発生のためキャンセルとなった。最終日、38kmのタスクを組み、競技を開始。早期に動いた選手がタスクの途中でランディングする中、グ

ランドサーマルを確実にヒットさせて2名の選手がゴール。それとともに20km以上を飛ばす選手が20名を超えラウンド係数も1<を得た。
[記:山城 知幸]

猪苗代パラグライダーカップ2002
2002年8月10日・11日
福島県耶麻郡 猪苗代PGエリア

- | | | | |
|----|-------|-----|-------|
| 1位 | 所 秀明 | 福島県 | 1195点 |
| 2位 | 佐野 忠公 | 福島県 | 1136点 |
| 3位 | 吉原 薫 | 栃木県 | 1112点 |
| 4位 | 脇島 宏朗 | 栃木県 | 984点 |
| 5位 | 小川 哲彦 | 福島県 | 980点 |
| 6位 | 寺木 新一 | 福島県 | 923点 |
| 7位 | 塚田 義明 | 茨城県 | 915点 |
| 8位 | 牧野 修一 | 福島県 | 904点 |

第12回を迎えた猪苗代パラグライダーカップは、45名の参加者を集めて行われた。初日のコンディションは南風と絶好の予報で、開会式も早々と切り上げTOに向かった。ダミーの報告は問題なしとのことで10時10分に競技開始。セットタイムは30分だったが、なかなかサーマルコンディションにならず、タイムは20分以上伸びず10分前後で終わる選手がほとんどであった。1時過ぎになると雷雲が発達し、1時30分に一旦ゲートクローズし、条件が回復した後、再びゲートオープン。4時半に初日の競技を

おまじない

私のグライダーはすこーしだけ傷んでいる。いや、あまり傷んでないが、周りの人間には「ソフランシーがきているね～」などと言われる。

そんな私は毎回T.O.でグライダーを広げる時に心の中でグライダーに話しかける。「おはよー、かわいいかわいい私のグライダーちゃん」

そうやって何回もグライダーに話しかけながら準備をすれば、滑空比がかなりUP!! するに違いない...

ペンネーム:心の滑空比が大切

食す

テイクオフ前、「いやー、長時間飛ぶには集中力があるし、糖分とらなきゃね」ザックに積んできた食料をこぞとばかりに食べまくります。

でも、パラグライダーって意外とカロリー消費しないんですよー。

ペンネーム:これだから痩せないのよネ～

やっぱコレでしょう?

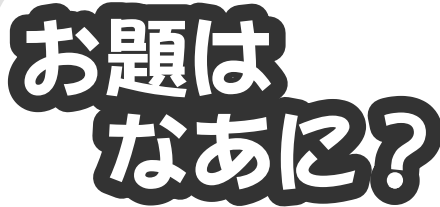
テイクオフする前にテイクオフでオッコをすると調子いい。大会でも「出る前」「出して」おくと落ち着いて飛べる。軽くなるせい?!

ペンネーム:DA KA RA

安全確認

レッグベルトの締め忘れ防止ハーネスが最近主流になったが、テイクオフする前には必ずプレフライトチェックを声に出してします。「足」「胸」「カラビナ」「メット」「無線」と呪文のように唱えます。未永くパラと付き合うために。

ペンネーム:そらしど



今回のお題は「飛ぶときの儀式」
食べたり出したり、呪文を唱えたり.....
さすがに踊る人はいないらしい。

自己暗示

僕がB級生のころイントラに教えてもらった呪文。「俺様がぶっ飛ばわけがない」これを三回唱えると必ず上がる。今でもちょっとテンションが低いときに唱える魔法の言葉です。

ペンネーム:ポリー・ハッター

理想は高く

テイクオフに着くと、まずタバコを吸いながらこれからの飛びの構想を考えます。テイクオフして10分後には1500メートル獲得。あっちに行ってこっちに行って...最後はサットで降下。ターゲットを踏んでランディングで注目を浴びる。完璧だ。

そして、いざテイクオフ。10分後には...あれ? グライダー豊んでるよ～。

ペンネーム:ぶっ飛び職人

次回のお題は「自分に惚れたこと」

今日の上げっぷりは自分でも惚れ惚れしたとか、あまりに美しくランディングをきめる自分に惚れるとか、正直に白状しなさい!? 楽しみにしています。

このコーナーでは、お題にそった皆さんの体験談をお待ちしています。笑える話、ホロリとくる話、ビックリする話、大歓迎。200字程度の文章にして、EメールまたはFAXでお送りください。ペンネーム、氏名、住所、電話番号、Eメールアドレスを忘れずに書き添えてください。作品採用の方には、図書券をプレゼントします。
Eメール:koho@jhfskysorts.or.jp
FAX:03-5840-8312
「JHFレポートお題はなあに?係」まで。

終了した。

2日目は西風に阻まれて当地での開催を断念し、三の倉エリアまで移動するが、こちらでも雷雲と西風の強風に阻まれ、ゲートクローズになった。 [記:山口 幸雄]

梅池 Japan Cup 2002

2002年8月24日・25日

長野県小谷村梅池高原スキー場エリア

- 1位 只野正一郎 1000点
- 2位 辻 強 996点
- 3位 長島 信一 798点
- 4位 吉川 正雄 710点
- 5位 扇沢 郁 666点
- 6位 小幡 洋三 377点

初日は前線接近のため競技はキャンセル。2日目は43.8kmのタスクで競技を開始するが、ゲートオープン前は活発だったサーマルもゲートがオープンすると渋めになり、約30名がそのままランディング。しかし、早めに見切りをつけた数名は岩岳のスタートパイロンをとり、八方、五竜方面へ行き、リフライト組も何とか渋いサーマルで上げ、スタートをきったが、北東風が強まってほとんどの選手が岩岳周辺にランディング。

トップグループは距離を伸ばし、ゴールに迫ったが只野、辻選手が40kmを目前にランディング。また、ミニマム距離をクリアした選手が8人と少なく、その結果、ポイントレースとしては不成立となったが、Japan Cupとしては成立した。 [記:後藤 俊文]

福井選手権

2002年8月25日

福井県スキージャム勝山エリア

- 1位 黒田 義裕 福井県
- 2位 松田 善行 福井県
- 3位 熊野 誠文 福井県
- 4位 二上 中 福井県
- 5位 宇野太佳雄 福井県
- 6位 山下 繁樹 福井県

21.4kmのタスクに12時ゲートオープン。参加者6名のうちミニマム達成者が1名だったために競技は不成立となった。しかし、非公認として順位をつけた。

[記:高田 昌平]

全日本学生パラグライディング選手権

2002年8月27日～29日

宮城県北川町鏡山エリア

大会期間中台風15号の影響で条件に恵まれず不成立。30日に予備日を設定しておいたものの、選手、スタッフの安全を考慮し、29日は閉会式を行わず午前中に解散という形をとることになった。 [記:江口 隆浩]

第17回十ノ瀬山ハンググライダー大会 かもしかカップ

2002年8月31日・9月1日

秋田県田代町十ノ瀬山HGエリア

[1stクラス]

- 1位 白木 智 秋田県 1439.5点
- 2位 山本 貢 茨城県 1226点

3位 石川 力 岩手県 1192.3点

[2ndクラス]

- 1位 板垣 直樹 茨城県 2000点
- 2位 大川 泰右 群馬県 358.4点
- 3位 土井 則義 山形県 317.5点

大会初日、気温33 南東1～3m/sの中、ディスタンスパイロンを行った。参加選手42名中36名がゴールし、2日目も好条件に恵まれ、初日同様42名中36名のゴールという結果になった。

JHSC型式登録機

輸入パラグライダー 2002年10月2日新規登録
 PI-854 ADVANCE シグマ5-26 SHV.PERFORMANCE NP
 PI-855 ADVANCE シグマ5-28 SHV.PERFORMANCE NP
 PI-856 GIN GLIDERS BANDIT XS SHV.STANDARD P
 PI-857 FLYING PLANET Whisper-M DHV.2-3 P
 PI-858 ユービー TORANGO-S DHV.2-3 P
 PI-859 ユービー TORANGO-M DHV.2-3 P
 PI-860 ユービー TORANGO-L DHV.2-3 P
 PI-861 APCO BAGIRA2 S AFNOR.PERFORMANCE P
 PI-862 プロデザイン プロジェクト M DHV.2-3 P
 PI-863 APCO SIMBA2 S AFNOR.PERFORMANCE P
 PI-864 APCO SIMBA2 M AFNOR.PERFORMANCE P
 PI-865 AIR WAVE MAGIC-S DHV.2-3 P
 PI-866 AIR WAVE MAGIC-M DHV.2-3 P
 PI-867 AIR WAVE MAGIC-L DHV.2-3 P
 PI-868 APCO BAGIRA2 M AFNOR.PERFORMANCE P

プロタイプパラグライダー

2002年10月2日新規登録

XP-047 GRADIENT AVAX RS-28型プロタイプ 鶴丸敬明
 XP-048 GIN GLIDERS BOOMERANG-II MLプロタイプ 只野正一郎、辻強
 XP-049 GIN GLIDERS BOOMERANG-II SMプロタイプ 扇沢郁
 XP-050 APCO APCO 2002型プロタイプ 中川喜昭

学連だよ!全員集合!!

こんにちは。季節はもう秋ですね。

今年の夏はいくつぐらい大会や合宿に参加しましたか。いろんな大会や合宿に参加して何週間も家に帰らなかった人もいます。実習やバイトがあってもなかなか飛べなかった学生フライヤーや、なかなか長期の休みが取れない社会人フライヤーにとってはうらやましいのではないのでしょうか。今回の特集は夏休みに行われた合宿の報告です。

関西学連夏合宿

毎年恒例の砂丘合宿が、学生フライヤー連盟関西支部の主催で8月20日から23日にかけて行われました。参加者は総勢130名。1日目は風が強く、全員が砂丘でハングの練習を行い、貴重な体験となりました。2日目・3日目は、砂丘・山、ハング・バラを問わず絶好の練習日和となりました。砂丘練習生はそれぞれのレベルに応じてテイクオフ練習やS字飛行の練習を行いました。山飛びは両日とも好条件で1000mまで上がったたり4時間以上飛んだり、皆大満足でした。

今年度の合宿はここ数年で一番の好コンディションとなり、よい練習になりました。砂丘合宿はもちろん来年も開催しますの

で、みなさん奮ってご参加ください!

中国学連夏合宿

今回の中国学連夏合宿には、近くは広島、遠くからは何と関東からも参加があり、総勢約60人の参加者が集まって行われました。条件は最高ではないものの、2日間の日程の両日とも成立し、ターゲットと爆弾落としによる競技が行われました。風の影響でなかなか思ったところに爆弾が落ちなくて苦戦する人も多かったようです。また、2日目の夜にはレセプションも行われ、海岸の近くでBBQで大いに盛り上がりました。3日目はフリーフライトで、海を眺めながらのんびりフライトしたり、また、泳いだり、近くの防波堤から飛び込みをする人もいました。

来年もアットホームな合宿を目指すので、また来てください!

続いては毎回各地区の代表の人に書いてもらっている紹介のコーナーです。

中国学連の紹介

こんちは! 今回は中国学生連盟の紹介をさせていただきます! 中国学連は、山口県立大学ハング・パラグライダーサークル

のSKYDUSTと、広島大学バラのTeam P s、ハングのTAKE OFF MANIAからなっています。

エリアとしては、一度飛んだら瀬戸内海を一望できるその景観に病みつき! 山口県の嵩山、高照寺山とクロカンのメッカ広島県、神の倉山です! 秋は赤や黄色に染まった山を眼下に飛ぶのが気持ちいいですね。瀬戸内海気候なので好天の確率が高くフライト率も高いですよ~! 「冬、うちのエリアは飛べないんだ.....」というあなた! 一度いらしてみてもいいかがですか?

それと中国学連では毎年夏合宿と冬合宿を行っています。今年の冬合宿は11月23・24日に神の倉で行われます。どしどしいらしてください~!!

学連への連絡は.....

「学連に加盟したい!」や「もっと詳しく学連のことを教えてほしい!」や、その他、学連への応援・苦情は下記まで。

別田義典(福井県立大学3年)

Eメール:s0012088@s.fpu.ac.jp

学連HP <http://www.geocities.co.jp/>

Outdoors/2273



空のかお
その46

向井 友弘さん
(ムカイ トモヒロ)



「目指せ、頂!」アイガー北壁を背に。

パラグライディングを始めたきっかけは7年前にテレビ番組で学校の割引券が当たったことから、という向井さん。学生の時にA級を取得し、1年半のブランクの後、現在通うスクールに入ったそうです。この8月には、パイロット証を手に入れました。向井さんにとって、パラグライディングは期待とスリルに満ちたドキドキ感を与えてくれるもの。それが心地良い快楽となって抜け出せなくなりました。日常生活ではなかなか味わえないその感覚を求めて、また別のエリアに足を運んでしまうのだとか。これから安全なフライトで空を満喫してください。

連絡ノート
JHF
フライヤー

年末年始は事務局業務を休みます
2002年12月28日(土)から2003年1月5日(日)まで、JHF事務局は業務を休みます。お問い合わせや、技能証の申請等は早めにお済ませくださるようお願いいたします。
選挙の相談窓口を開設
選挙管理委員会の相談受け用メールアドレスが下記のように開設されました。
senkyo@jhf.skysports.or.jp
JHFホームページからも、直接上記アドレスにメール送信できるようになりました。
電話およびFAXは、JHF事務局にて受け付けます。来春のJHF役員選挙についてのご相談をお気軽に。
尚、メール、電話、FAX、いずれの場合も、お名前と選挙管理委員会からご連絡できるメールアドレス、電話番号等の連絡先を明らかにしてください。
新しい申請書ができました
正確かつ迅速な技能証発行のため、技能証申請書を新しくしました。新しい申請書は1種類のみ。この用紙で、どの技能証の申

請でもできます。また、新規の申請だけでなく、紛失等による技能証再発行も、この用紙で申請してください。

新しい申請書は、10月中旬からご請求いただいたスクール(教員)にお送りしています。JHFのホームページからダウンロードできませんのでご注意ください。

2003年1月1日から、勝手ながら従来の申請書は使用できなくなりますので、スクール・教員の皆さん、早めに事務局まで新申請書をご請求ください。

HGシリーズへのエントリー
ポイントシステム「ハンググライディングシリーズ」の2003年登録申込み受け付けが始まりました。参加をご希望の方はJHF事務局までご連絡ください。

ジャパンリーグへのエントリー
パラグライディングのポイントシステム「ジャパンリーグ」の2003年登録申込み受け付けは、2002年12月1日に開始の予定です。参加をご希望の方はJHFホームページをご覧ください。インターネットの利用ができない方はJHF事務局まで。

尚、SPS(スポーツパラグライダーシリーズ)は事前に登録する必要がありません。
JHF事務局
TEL.03-5840-8311 FAX.03-5840-8312
(電話は月～金曜日の9:30～17:30に)
E-mail:jhf@skysports.or.jp

8月・9月のパイロット証取得者 (敬称略 数字は認定日)

パラグライディング			
8/1 和田 祐児	8/20 間辺 恭平	8/29 水野 博之	9/4 小沢 竜司
8/2 森山 武美	8/20 遠藤 智史	8/29 藤中 正久	9/5 藤田 信一
8/2 長島 圭佑	8/20 榎谷 昇	8/29 室岡 篤史	9/6 大西由希子
8/2 薄井 健吾	8/20 茂呂可寿美	8/29 市川 裕之	9/6 山口 哲央
8/2 中道 直樹	8/21 粕川 昭久	8/29 千村 雅信	9/10 吉田 和博
8/5 荒金 邦俊	8/21 笹川 信宏	8/29 向井 友弘	9/10 榎本 千春
8/5 西村 幸信	8/21 西村 弥生	8/29 小池 賢司	9/12 梁川 光昭
8/5 奥村栄一郎	8/21 宮川 知己	8/29 野村 寿明	9/12 石井 孝明
8/6 山本 薫	8/22 戸部 光彦	8/29 大和久郁子	9/12 近藤 功
8/6 桃野 公利	8/22 清水 広二	8/29 山口 修	9/12 遊馬 昭博
8/6 渡部 修	8/22 福山 竜大	8/29 中島 孝幸	9/13 横山 勝
8/8 古場 輝義	8/23 合田 幸夫	8/29 石田 英二	9/13 佐藤美智雄
8/8 TERENCE LEONID	8/23 麻生 幸雄	8/29 富永 秀博	9/13 藤山 純一
8/8 井上 雷夫	8/23 野村 俊介	8/29 吉岡 正文	9/19 江藤 守
8/9 宮川 勇	8/23 土屋 宣枝	8/29 大和久俊之	9/19 中井 理恵
8/9 宮川 明美	8/23 園原 雅人	8/29 鈴木 哲幸	9/19 真藤 正一
8/19 小林 忠明	8/23 田村 義直	8/29 滝内 秀雄	9/19 梅村 建次
8/20 大坪 洋人	8/29 國見 礼	8/29 吉田 圭吾	9/19 梶原 光生
8/20 宮田 和彦	8/29 中山 善男	8/30 竹田 亨	9/19 藤田 嘉彦
8/20 大田木三夫	8/29 下出 廣	9/4 松尾 友裕	9/19 藤原 聡子
			9/19 松本 和彦
			9/24 鈴木 勇治
			9/24 富永 淳子
			9/24 北口 勉
			9/25 山口 智宏
			9/25 関谷 義美
			9/25 高橋 司
			9/25 吉永 文夫
			9/25 斉藤 勝
			9/25 田野實英明
ハンググライディング			
			8/8 近成 純
			8/8 中村 啓一
			8/8 黒田 寛祐
			8/8 野口 和基
			8/29 菅澤 栄児
			8/30 上地賢二郎
			9/4 高木 寛文
			9/19 森永 良輔

9月30日までのフライヤー会員登録数

登録年数	7月31日現在の有効登録数	8月の登録数	9月の登録数	9月30日現在の有効登録数
1年		689	838	
3年		377	504	
合計	18,569	1,066	1,342	19,467

8月・9月の技能証発行数 ()内の数字は発行数中の女性の人数です。

技能証種類	ハンググライディング			パラグライディング			
	8月の発行数	9月の発行数	9月30日までの発行数累計	技能証種類	8月の発行数	9月の発行数	9月30日までの発行数累計
A証	8(2)	6(0)	12,183	A証	165(48)	196(57)	47,478
B証	9(2)	7(1)	11,760	B証	103(30)	91(20)	42,704
C証	3(0)	1(0)	7,057	NP証	81(23)	51(9)	10,853
P証	6(0)	2(0)	5,007	P証	59(6)	31(5)	19,966
補助動力証	0	0	129	補助動力証	1(0)	3(0)	2,956
XC証	4(0)	0	1,192	XC証	20(3)	23(2)	4,149
タンデム証	0	0	48	タンデム証	9(0)	22(1)	751
	モーターパラグライディング						
	P証	0	0		0	0	76

*訂正：前号に掲載した7月31日までのMPG技能証発行数累計は76が正しい数字です。

編集を終えて
秋の長雨とはいうけれど、青空の少ない9月でした。また残念な死亡事故も起きてしまいました。このレポートが出る頃は、スッキリ秋空になっているはず。田んぼの稲刈りも終わりXCシーズン到来。どうか安全第一の飛行を。JHF広報出版部

JHF ホームページもご覧ください。
<http://jhf.skysports.or.jp/>

JHFレポート11・12月号(No.174)
発行日 2002年10月20日 定価10円
発行 (社)日本ハンググライディング連盟
〒112-0003 東京都文京区春日2-24-11
春日Shimaビル8階
TEL.03-5840-8311 FAX.03-5840-8312
E-mail : jhf@skysports.or.jp
編集 JHF事務局広報出版部
印刷 日本印刷(株)

この印刷物は再生紙を使用しています。